

令和5年度

事業報告

社会福祉法人 若竹の園

令和5年度 入所児童数

月 年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	10	10	9	11	13	15	15	15	15	15	17	17	162
1.2歳児	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83	82	995
3歳児	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	528
4歳以上児	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	972
計	218	218	217	219	221	223	223	223	223	223	225	224	2,657

令和5年度 一時保育利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1日利用	93	89	110	111	102	102	129	111	115	106	118	136	1,322
半日利用	50	62	53	52	52	73	70	73	64	65	72	57	743
合計	143	151	163	163	154	175	199	184	179	171	190	193	2,065

令和5年度 延長保育利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	212	267	303	226	222	288	287	274	238	234	211	247	3,009

令和5年度職員研修内容

5年度は、5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行ということで、今まで規制されていたところから、今後どう保育を考えていくかに重点を置いた一年であった。

職員研修についても、岡山県、倉敷市、倉敷市保育協議会、倉敷市民間保育所協議会、全国私立保育連盟が主催する乳児保育・障害児保育・3歳未満児の研究・主任保育士研修・運動遊び・公開保育・中堅保育士研修・園のリスク対策や防災・食育・給食管理・小学校連携など外部出張が（on-line研修も含めつつ）対面で行われるものが増え、出張へ派遣する。

5名の新規採用者についても初任者研修など受講し、キャリアアップ研修では今までに受けていない若手の職員にも受講機会を増やしていく。

園内での研修は、職員の親睦を深めていくことも目的に入れながら取り組む。

若竹の園に伝承される**わらべうた**を季節ごとに取り入れ職員で遊びながら学んだり、疑問や質問を交えて明日の保育へと活かしていく。

絵本についても、**紙芝居**などの定期購入や年中行事に応じて用意したものを、自由に貸し出すなどして、一人ではできない保育の幅をひろげていく。

ボードゲームは、幼児クラスの職員でも遊び方がわからず玩具の入れ替えなどに苦慮していた様子を見て、園内のゲームを遊び方を知っている職員を含んで小グループで体験する。

子どもの発達に即した**手作り遊具**に関しては、過去の資料を基に復元して作成したり、毎月の遊びプロジェクトの話し合いで提案されたものなどを職員全員で取り組む。今年度はタペの集いでゲームや子どもたちへのプレゼントなども、保育園らしさと発達状況を考えながら、互いに意見を交換し取り組んでいくことができた。

季節の**歌**は、子どもの音域を考慮し季節を歌から感じられるようにと毎月の歌を何曲か、職員からも聞き取りしながら一緒に歌ったり、その歌にまつわる話など伝えていく。

園の広報用のDVD（実習生や見学者説明用）を見たことがないと職員から声上がり、園の歴史を知ったり、学びながら**理念の継承**を伝える場とした。

各クラスにある**リスクマネジメント**のファイルの中身についても、定期的に繰り返し見直すことをしてほしいと職員から声上がり看護師を中心に、子どもたちの安全を守ることを学ぶ。

*勉強会のまとめ参照

書類

PCの台数はクラス用とフリー用が揃う。PCでの書類の作り方に全員が慣れてきた。

得手不得手はあるが、少しずつクラス通信なども作成する職員が増えている。

新たな課題として書類の形式について話し合うことが進まなかった。

食育

園内での栽培、収穫体験（夏野菜の収穫と食体験、ユスラウメ、アンズやブルーベリー）

行事と食を楽しむ（トウモロコシの皮むき、ピーマンの種取、きゅうり・トマト、飯盒炊飯、枝豆のさやとり、焼き芋、餅つき、七草がゆ、とんどやき、かぼちゃ炊き等）

日清医療食品からも盛り付けやカットの工夫、行事のおやつに季節の型抜きや彩りを工夫してくださり子どもたちとの交流も多い。食べにくい食材の下ごしらえの工夫なども考慮しているとのことで、職員や保護者からのリクエストでレシピも展示食と共に毎月置いており、好評である。



遊びプロジェクト2023

過去の資料や反省をもとにし、毎月昼礼の際に各クラスからアイデアを出し合って決めていく。

園庭の準備は、係だけでは大変なため早番保育士や非常勤保育士も主任とともに出るようにする。

反省

子どもの内面を見つめていく話し合いや研修が行えなかった。かかわり方の難しい子どもたちへの対応や保護者支援、声のかけ方と様子の伝え方なども共有しながら話し合う場が持てるとよかった。次年度は講師の先生への依頼をしながら日々のかかわり方や子ども同士のかかわりの見守り方や言葉かけなどを学びたい。

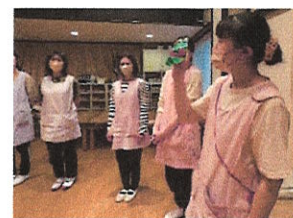
また、それぞれの研修のリーダーを中心に、若竹の園の大切にしてきた保育を一つずつ全体で共有しながら学べる機会をもっていきたいと思う。

R5,5,26

<内容>

*わらべうた

- ・ポツン ポツポツ
- ・あめ こんこんふるなよ
- ・げこげこ かえる
- ・いなかのおじさん
- ・デロデロ ツノデロ
- ・ほたるこい やまみちこい
- ・ジージー バア
- ・カップ カップ カップパッパッ



「牛乳パックで作ったカエルの人形でお話が出来ます」と紹介



『げこげこ かえる』のしぐさあそび



*かたり

- ・ほれほれ 雨がふりだした

紙コップとストローでなくカエルを作った翌日、2歳児クラスで子どもたちに見せるとケラケラ笑って喜んだ

*こどものうた（童謡）

- ・とけいのうた
- ・かえるのがっしょう



『あめ こんこんふるなよ』の声あてあそび当てられるかな？とドキドキ感を味わった

『ほたるこい やまみちこい』の役交代のあそび折り紙で作ったちょうちんを使ったが「このちょうちんを見てもうすぐ七夕まつりが来るなと思いますね」という声が聞かれた



今年度最初の勉強会だったので、経験年数がある保育士に『今、この時期にうたいたいわらべうた』を紹介してもらった。日頃の保育でよくうたわれているものもあれば、久しぶり、なつかしいと感じるものもあった。

保育士同士が手をつないだり、笑い合ったりすることもこの勉強会をする中で大切に嬉しい事だと感じた。翌日、保育士から「昨日の勉強会は充実した時間でしたね」という声が聞かれた。

今年度からわらべうたや語りに加え、童謡も取り入れていきたいと考えている。今伝えなければ消えてしまうかもしれない昔からうたわれてきた美しい日本語が感じられる季節の歌を歌っていきたい。

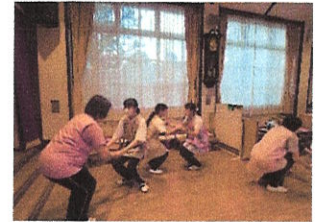
R5,6,23

<内容>

*わらべうた

- ・あまんだぶり こうだぶり
- ・かわのきしの みずぐるま
- ・あらって あらって
- ・ささにたんざく
- ・ソーメン ニューメン
- ・コマンカ コマンカ
- ・きゅうりちゃん (キュウリヲイッポントツテキテ)
- ・ねんねんねやまの

『あまんだぶり こうだぶり』
「すとんとん」で座る



布を使って『コマンカ コマンカ』
布の中に入る子どもの気持ちを体感した。

*かたり

- ・林の中から
- ・これはわらぶき屋根の家です



『かわのきしの』 『あらって あらって』
大人同士で手をつなぐことは、恥ずかしさもあるが、
お互いのぬくもりが感じられて、大事。

*童謡

- ・うみ (うみはひろいなおおきいな)
- ・みずあそび (みずをたくさんくんできて)

*制作 (おりがみ)

- ・メダルのくす玉



「七夕飾りづくり」
グループ対抗にして盛り上がった。
いろいろな七夕飾りがあり、
子どもと作る時の参考になった。

水遊びが始まるので水遊びやプール遊びで使えるわらべうたが知りたいとリクエストがあったので、水に関する (水が出てくる) あそびを多く取り入れて紹介した。

『ささにたんざく』は振付をみんなで再確認した。七夕まつりやタベの集いで全園で踊ることが多いのでいい機会となった。何年も前、職員で振付を考え、若竹の園で伝えてきた歌なので大事にしていきたいと思う。

「七夕飾りづくり」はチーム対抗でゲーム形式にしたので盛り上がっていた。職員間で楽しかったという経験が子どもに伝える時の参考になったり、職員同士の交流にもなると感じた。

今回は久しぶりに子守歌を紹介した。子どもを寝かしつける時にうたってほしい。

R5,7,28

<内容>

*わらべうた

- ・ぎっこ ばっこ ひけば
- ・さらさらながれる かわのみず
- ・ゆうなの木のしたで

●お手玉あそび

- ・カトウキヨマサ オウマニノッテ ホイ
- ・とけいやさん いまなんじ
- ・あんたがたどこさ
- ・ゴリラおてだま

*かたり

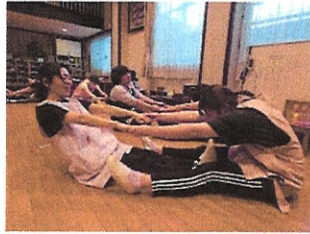
- ・五匹の子ザル

*童謡

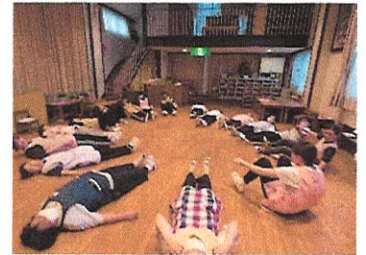
- ・つき (でたでたつきが)
- ・むしの こえ (あれまつむしが)

*制作 (おりがみ)

- ・おさるの指人形



『ぎっこ ばっこ ひけば』
相手の様子を見ながら引っ張りあいっこ
ちょっと体が硬そうでした



『さらさらながれる かわのみず』
歌の終わりにぱたんと寝ころんで空を見る



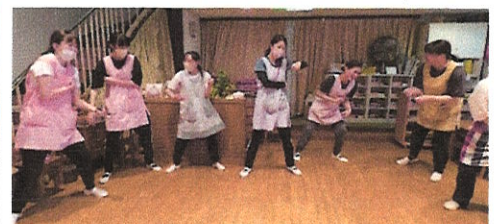
『あんたがたどこさ』の歌に合わせてお手玉。
落とさないようにと必死でした



『とけいやさん いまなんじ』



『カトウキヨマサ オウマニノッテ』



『ゴリラおてだま』
お手玉を使ってゴリラになる やってみると難しかった



『五匹の子ザル』
元々は手袋人形を使って語るのだが、今回は折り紙でサルの指人形を
作って語るようにした

お手玉遊びを多く紹介した。年齢によっていろいろ遊べるように一つの歌でもいろいろな遊び方があっても同時に紹介した。勉強会で保育士自身が必死になったり楽しんだりして「あ〜楽しかった。子どもたちとも一緒にやってみよう」という思いが持てるようにしたいと思う。

『五匹の子ザル』のかたりは、折り紙の指人形を使って語れるようにしてみた。手袋人形を作るのは、ハードルが高いが、折り紙の指人形なら手軽に作って語りに使えると考えた。

童謡は秋に歌えるものを選んだ。お月見会などの行事でもうたっていきたい。

R5,9,21

<内容>

*わらべうた

- ・いもくって ぶ
- ・どんぐり ころちゃん

●お手玉遊び

- ・こめというじを
- ・ペッタラ ペットン

*かたり

- ・おさるとお風呂

●組木のおはなし

- ・ぞうくんのさんぽ
- (・ももたろう ・てぶくろ
- ・三びきのやぎのがらがらどん
- ・おおかみと七ひきのこやぎ
- ・三びきのこぶた
- ・ブレーメンの音楽隊)

*童謡

- ・まつぼっくり
- ・いもほりのうた



『いもくって ぶ』

「ぶ」のところでお尻をポンとたたく
遠慮してそっとなでるようにたたくと
くすぐったい



『どんぐり ころちゃん』

みんなで踊った
なんだか楽しそうの表情だった



「ちゅうりっぷぐみでは絵本も
読んでいます。子どもたちに大
人気です。」と紹介した



『ペッタラ ペットン』をみんなでした
よく知っているうただったので遊び方の
バリエーションが広がるようにした

前回作ったおさるの指人形を使って
『おさるとお風呂』をした

お手玉人形のおさるも作ってみたいと
いう意見もあった



前回の勉強会后、藤田浩子さんのお手玉遊びの本を購入した職員が多かったので、その本の中から『こめというじを』と『ペッタラ ペットン』を紹介した。お米の収穫時期を迎えるので子どもたちにぜひ、うたってほしい。

どんぐりやいも、米など秋にぴったりのうたを多く紹介した。

前回作ったおさるの指人形は、いろいろなかたりに使うことが出来る。自分の好きなかたりを見つけて語ってほしい。

組木のおはなしは貸出遊具の棚にあるので使ってほしいと紹介したが時間の関係で『ぞうくんのさんぽ』のみ実演した。

勉強会后、作ったおさるの指人形を使って語る職員がいて、うれしかった。

R5,10,27

<内容>

*わらべうた

- ・おてぶし てぶし
- ・おでんでんぐるまに
- ・はないちもんめ
- ・あぶくたった
- ・ねこがごぶくやに

*かたり

- ・かきがまっかにうれたので
- ・このぶたちゃんは

*童謡

- ・むらまつり
- ・やまのおんがくか
- ・やきいもグーチーパー



『おてぶし てぶし』

ちょっとした時間によく遊べると経験年数のある保育士の提案で今回紹介した。どんぐりなどを使ってあてっこあそびをしてほしい。



『ねこがごぶくやに』
カードを使ったものと鬼ごっこ形式のものと二通りの遊び方を紹介した。大人でも色を探して必死に走って遊んでいた。



『はないちもんめ』 『あぶくたった』

幼い頃に一度はしたことがあるであろうわらべうたを紹介した。みんながよく知っているうたなので祖父母参観等で一緒にあそんでほしい。



『このぶたちゃんは』

子どもの前ですぐに語れるようにと折り紙でぶたの指人形を折ってきてもらった。覚えやすく子どもたちにも人気がある語りなので大切に伝えていきたい。

「秋祭り・祖父母参観」「焼き芋大会」の行事があるので行事でも活用できるものを多く紹介した。前回の勉強会でおさるの指人形を使っての語りを紹介したが、自分なりにアレンジして子どもたちに語っている職員がいたのでみんなに話してもらったりもした。

勉強会で紹介したことが、保育現場で役立っていることは、うれしい。



『若竹の園の歴史』のDVDを視聴した。

始めて見るという職員も多く、若竹の園の歴史を知るよい機会になったのではないかと思います。若竹の園の創立者の思い、理念が今に引き継がれていることを再認識した。若竹の園が大切にしてきたことを次の世代に伝えていきたい。



R5,11,22

<内容>

*わらべうた

- ・きびだんご きびだんご
- ・おざしきはいて
- ・ねずみねずみ ようかくり
- ・おらうちの どてかぼちゃ
- ・さよならあんころもち
- ・クリスマスの夜 (ろうそくポツ)
- ・ゆきふるしろい

*かたまり

- ・わたしはこぶた ないてもこぶた

*童謡

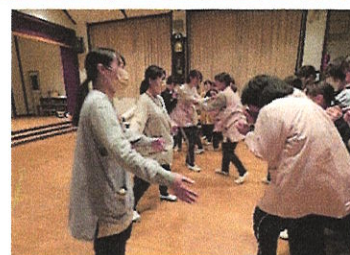
- ・たきび
- ・きたかぜこぞうの かんたろう

*折り紙

- ・サンタベル



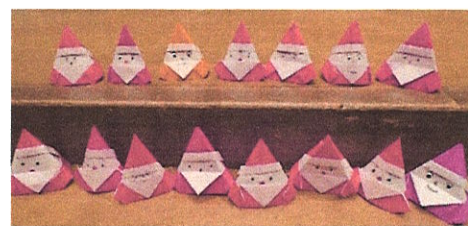
『おざしきはいて』
手のひらをそっとなで
るとくすぐったい!



『おらうちの どてかぼちゃ』 『ねずみねずみ ようかくり』
真剣に、本気になって逃げた。はあ、はあと息が切れた。



『クリスマスの夜』 『ゆきふるしろい』



折り紙で作った『サンタベル』



『わたしはこぶた』
クラスに1つずつ
小道具を制作した。
ちょっとした時間
に語ってほしい。



保育士が楽しそうに本気になって遊ぶ姿があった。勉強会でみんなで作ってみて楽しかったという思いが子どもたちとやってみようという明日からの保育に繋がってほしいと思う。

また、保育士同士のふれあいが、お互いを理解し信頼する助けにもなるといいと思う。

寒くなってくるので身体を動かして遊べるものを多く取り入れた。

クリスマスやお手紙 (年賀状) に関するあそびや小道具も紹介した。

保育の中で役立ててもらえると嬉しい。



<内容>

*わらべうた

- ・おにさのるすに
- ・ひやふうやのやまみちを
- ・アズキチョマメチョ
- ・ちっちゃいまめころころ
- ・まめがいっこはねた



<おにさのるすに>

歌の終わりに「おにはそと」といったら他の囲いに入れ替わる。慌てて入ろうとする人もいて面白かった。



<ちっちゃいまめころころ>

本当は子どもの足の指を持ちながらうたうのだが、自分の指を持って練習した。



<アズキチョマメチョ>

歌をうたいながらだんだん小さくなっていく。足に筋肉がつきそうだった。



* 童謡

- ・おにのパンツ
- ・コンコンクシヤンのうた



<ひやふうやの>

いつも節分が来るとうたいたくなる鬼ごっこの歌。鬼ごっこは大人同士でも盛り上がる。

* ボードゲームの紹介と実践

- ・様々なボードゲームをグループに分かれて遊ぶ



節分が近いので“オニ”や“マメ”に関するわらべうたを多く紹介した。保育の中で取り入れて楽しい節分（まめまきかい）にしてほしい。

勉強会で作った小道具を保育現場でよく活用することが出来ているので、今回もペープサートづくりを取り入れた。童謡を子どもたちと一緒にうたうきっかけになると嬉しい。

年長児のクラスでボードゲームが流行っているので紹介した。担任する年齢によって知らないものもあるので、いい機会になった。

「なつかしい」と言って遊ぶ姿もあった。



<内容>

*わらべうた

- ・ひなさまこさま
- ・しゃんしゃんしゃん
- ・うぐいすのたにわたり



『ひなさまこさま』

小さなおひなさまを大事に隣の人に渡す。こどもたちもそっと渡す経験をしてほしい

*かたり

- ・三月ひなさま
- ・はながさいた はながさいた
(おはながわらった)



『うぐいすのたにわたり』

声あての遊び。

オニになった人は当てられるかとドキドキ感を味わった。

*童謡

- ・はるがきた
- ・くつがなる



『はながさいた はながさいた』

語りと童謡がセットになっている。手袋人形での語りだが作るのに時間がかかるので指人形で語った。



『しゃんしゃんしゃん』

今年度作った指人形を使った。指人形大活躍。

*嘔吐があった場合の処理の仕方の確認

*小さなケガの応急処置



春が感じられるようなわらべうたや語りを多く紹介した。子どもたちにあそびの中でも春の訪れを感じてほしい。

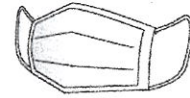
今年度は、指人形を作り、いろいろなあそびをしてきた。自分で作って持っているのでもちよとした時間に子どもたちにお話しして聞かせることが出来たようだった。

嘔吐処理の仕方や小さなケガの応急処置については、保育現場から確認したいという意見があり、看護師に指導してもらった。もう一度マニュアルを見たり、再確認するいい機会になった。

<嘔吐時の処理 手順>

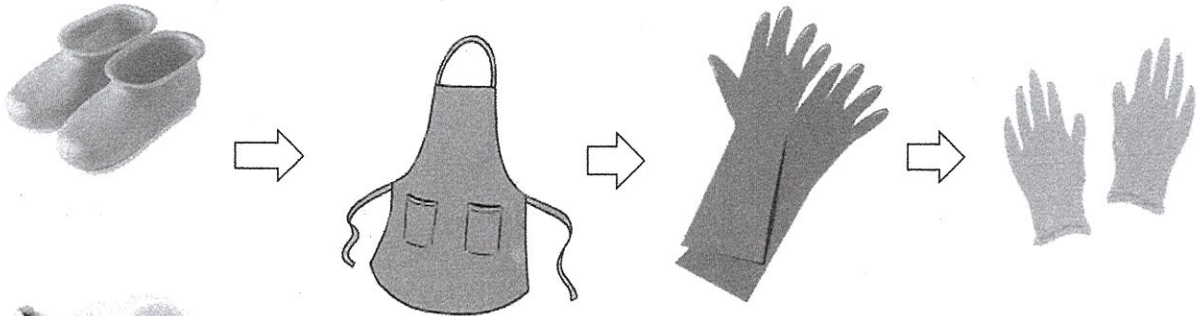
① 保育エプロンを脱ぐ

② 嘔吐処理セットを取りに行き、マスクをつける



③ 必要なものをかごから取り出す この時20Lのごみ袋2枚の口を開けておく

④ 手早く身支度をする



※ 袖ありエプロン着用時は普通の
手袋を2枚重ねる

⑤ 吐物の上に新聞紙を置いて、上から次亜塩素酸Naをまんべんなくかける
(吐物と同量程度かける)

⑥ 新聞紙ごとごみ袋に入れる

⑦ ペーパータオルまたはボロ布で拭きごみ袋に入れる(外から内へ拭く)

⑧ 手袋1枚をごみ袋に入れ、全体に次亜塩素酸Naをかけ、袋を閉じる

⑨ 吐物があったところにペーパータオルを置いて次亜塩素酸Naをかけ、10分おく

⑩ ペーパータオルで拭き取り、その後水拭きする(外から内へ拭く)

⑪ 新しいごみ袋に吐物の入った袋、使用したものを全て入れ、次亜塩素酸Naを
かけ、袋の口をしっかりと閉じる

※ 吐物を新聞紙で覆い次亜塩素酸Naをかけた後、窓をあける

※ 嘔吐した子どもの後処理をする場合にも、マスク、エプロン、手袋を着用する

※ 服を脱がせたらそのままにビニール袋(2重)に入れる
(吐物が付着した衣服は洗わず返却、保護者に説明する)

主な行事のまとめ

令和5年度

毎月の行事

- ・納入日
- ・誕生写真
- ・健康観察
- ・身体測定
- ・誕生会
- ・災害訓練
- ・体育遊び

- 4月 3日 月 ・進級式(進級児)入園式(新入児)
(進級児180名新入児35名計215名の園児を迎える)
- 7日 金 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園
- 18日 火 ・内科健診(5歳児) 羽島こども診療所より「槇先生」来園
- 25日 火 ・内科健診(4歳児) 羽島こども診療所より「槇先生」来園



- 5月 1日 月 ・こどもまつり(～2日)
- 12日 金 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園
- 15日 月 ・保護者と担任とで個人懇談を行う(～26日)
- 23日 火 ・しゃぼん玉で遊ぼう(～24日)
- 25日 木 ・検尿(4.5歳児)
・内科健診(2.3歳児) 羽島こども診療所より「槇先生」来園
- 27日 土 ・水島愛あいサロンで行われる就職ガイダンスへ参加
- 29日 月 ・倉敷看護専門学校より5名看護実習に来る(～6月1日)
- 30日 火 ・30日～6月9日倉敷市立短期大学より4名保育実習に来る
- 31日 水 ・大原美術館未就学児童対象プログラム おさんぽ美術館①(5歳児)

8日～コロナ5類へ移行



大原美術館

- 6月 1日 木 ・本部、施設監事監査(浅田・原監事)
- 2日 金 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園
- 8日 木 ・内科健診(0.1歳児) 羽島こども診療所より「槇先生」来園
- 12日 月 ・倉敷市の給食衛生監視を受ける
- 13日 火 ・ふしぎランド(13.15.16日)
・参観日(13.15.16日 分散型で行う)
- 14日 水 ・理事会 4年度決算報告と事業報告(倉敷公民館にて)
・14～24日川崎医療福祉大学より4名保育実習に来る
- 21日 水 ・歯科検診(倉敷中央病院より歯科医師、歯科衛生士来園)
- 24日 土 ・水島愛あいサロンで行われる就職ガイダンスへ参加
- 26日 月 ・倉敷看護専門学校より5名看護実習に来る(～28日)
- 27日 火 ・大原美術館未就学児童対象プログラム おさんぽ美術館②(5歳児)
- 29日 木 ・理事会 評議員会(倉敷公民館にて)

保こ幼小連絡会再開



大原美術館

- 7月 3日 月 ・3日～13日新見公立大学より3名保育実習に来る
 4日 火 ・耳鼻科検診(4.5歳児) 木村耳鼻科より「木村先生」来園
 ・タベのつどい (4歳児)
 ・4日をはじめとして職員健康診断が始まる(10月下旬まで)
 あいクリニック 倉敷中央病院予防医療プラザに分かれて健診
 を受ける
 5日 水 ・タベのつどい (5歳児)
 7日 金 ・七夕まつり
 10日 月 ・水遊び開始
 ・倉敷看護専門学校より3名看護実習に来る(～13日)
 12日 水 ・水フェスティバル(～14日)
 14日 金 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園
 ・プール設置
 18日 火 ・プール開き
 21日 金 ・制服(リサイクル)販売



タベのつどい再開
 (4歳児・5歳児のみ別々に行う)



倉敷天文台に笹を頂く



プール遊び再開

保護者会

バザーはリサイクル販売として継続

- 8月 1日 火 ・かき氷パーティー
 4日 金 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園
 11日 日 ・ハートランド倉敷 うちわ制作 掲示にて参加(3.4.5歳児)
 16日 水 ・保健所の巡回指導を受ける
 18日 金 ・かき氷パーティー
 25日 金 ・1 DAY CAMP(5歳児)
 プール納め かき氷パーティー
 26日 土 ・プール撤去
 29日 火 ・水フェスティバル再び(～31日)
 ・南中学校より2名チャレンジワークに来る(～31日)
 30日 水 ・保育学生対象の体験会を行う かき氷パーティー
 31日 木 ・保育学生対象の座談会を行う

お泊り保育→1DAYCAMPのまま継続



- 9月 4日 月 ・4日～14日倉敷市立短期大学より2名保育実習に来る
 5日 火 ・手足でアート(～6日)
 6日 水 ・保育学生対象の体験会を行う
 7日 木 ・保育学生対象の座談会を行う
 8日 金 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園
 12日 火 ・新田中学校より2名チャレンジワークに来る(～14日)
 13日 水 ・大原美術館未就学児童対象プログラム おさんぽ美術館③(5歳児)
 14日 木 ・内科健診(4.5歳児) 羽島こども診療所より「槇先生」来園
 16日 土 ・園庭整備
 21日 木 ・内科健診(2.3歳児) 羽島こども診療所より「槇先生」来園
 27日 水 ・わくわくスポーツ2023予行演習



大原美術館

タカトリ・保護者・職員



- 10月 3日 火 ・わくわくスポーツ2023(～5日)
保護者観覧日4日(全体) 5日(5歳児のみ)とする
- 6日 金 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園
- 12日 木 ・内科健診(0.1歳児) 羽島こども診療所より「榎先生」来園
- 13日 金 ・お月見会(園内)
・災害訓練で消防署より消防車がやってくる
- 14日 土 ・新見公立大学より53名見学実習に来る
・阿智神社秋祭り 園庭を御旅所として開放
- 18日 水 ・遠足(3.4.5歳児 備中国分寺) お弁当の日
- 23日 月 ・お月見会(5歳児)
・人形劇観劇(5歳児 倉敷市民会館)
- 27日 金 ・インフルエンザ予防接種 全職員が受ける
(23日より27日まで)
- 30日 月 ・かぼちゃ炊き(災害用かまど使用)



- 11月 1日 水 ・芋掘り遠足(4.5歳児)
- 6日 月 ・6日～16日新見公立大学より4名保育実習に来る
- 7日 火 ・倉敷第一中学校より2名チャレンジワークに来る(～9日)
- 8日 水 ・うきうきオータムランド(～10日)
- 10日 金 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園
- 14日 火 ・西中学校より2名チャレンジワークに来る(～16日)
- 15日 水 ・倉敷市の指導監査を受ける
- 16日 木 ・秋まつり 祖父母参観日(～17日)
- 20日 月 ・北中学校より2名チャレンジワークに来る(～22日)
- 22日 水 ・焼き芋大会

- 12月 5日 火 ・生活発表会予行演習(倉敷市立美術館にて)
- 13日 水 ・生活発表会(3.4.5歳児 倉敷市立美術館にて)
・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園
- 15日 金 ・クラレ倉敷事業所へジャンボツリー見学(5歳児) 16:30～18:10
・倉敷国際ホテルガーデンにて落ち葉遊び(5歳児)
- 18日 月 ・冬至かぼちゃ炊き(災害用かまど使用)
- 19日 火 ・おもちつき
- 22日 金 ・クリスマス会
・職員研修 大原あかね理事長よりお話
- 28日 木 ・保育納め



- 1月 4日 木 ・保育始め
- 5日 金 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園
- 10日 水 ・七草粥パーティー(災害用かまど使用)
- 12日 金 ・七福神めぐり
- 16日 火 ・とんどまつり お正月遊び

園外保育再開

クラス単位での入れ替え制は継続
観覧人数の制限を緩和する



倉敷天文台にて



借りている堀南の畑



祖父母とのつどい→祖父母参観
分散型に変更して再開



クラス単位での入れ替え制は継続
観覧人数の制限を緩和する

お菓子を頂く

子どもたちがジュースを頂く



倉敷天文台に笹を頂く

- 1月 22日 月 ・倉敷看護専門学校より4名看護実習に来る(～24日)
 23日 火 ・卒園写真撮影
 29日 月 ・保護者と担任とで個人懇談を行う(～2月9日)
 ・倉敷看護専門学校より5名看護実習に来る(～31日)
 31日 水 ・災害訓練(引き渡し訓練)を降園時に行う



- 2月 2日 金 ・節分会
 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園
 5日 月 ・倉敷看護専門学校より5名看護実習に来る(～7日)
 13日 火 ・倉敷看護専門学校より5名看護実習に来る(～15日)
 14日 水 ・参観日(～15日)
 19日 月 ・倉敷看護専門学校より4名看護実習に来る(～21日)
 22日 木 ・大原美術館未就学児童対象プログラム おさんぽ美術館④(5歳児)
 24日 土 ・ひなめぐりオープニングセレモニーに参加(5歳児)
 26日 月 ・倉敷看護専門学校より5名看護実習に来る(～28日)
 29日 木 ・新入児の保護者に入園説明会を行う

人数制限なしとする

大原美術館



全体説明会

後日、順次個別面接を行う

- 3月 1日 金 ひなまつり会
 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園



- 4日 月 ・5歳児 食事会・テーブルマナー(昼食)

倉敷国際ホテルにて

- 5日 火 ・人力車体験(5歳児)地域ボランティア活動として

えびす屋

- 6日 水 ・交通安全教室(5歳児)

- 8日 金 ・芋ぜんざい作り(災害用かまど使用)

- 12日 火 ・テーマ遊び 春探し

- 13日 水 ・理事会 評議員会(倉敷市立美術館にて)

- 14日 木 ・5歳児参観日 お別れ会

- 15日 金 ・お楽しみ会(人形劇)

- 21日 木 ・4.5歳児お別れ会

- 23日 土 ・卒園式

- ・同窓会(中学1年生～高校1年生 時間と場所を分けて学年毎に行う)

- 25日 月 ・6年生を迎える会



同窓会再開

施設整備

令和5年度は施設整備を次の通り行った。(10万円以上のもの)

修繕 … フロンティア 配線修理 227,150円

固定資産 … ノーリツ ガス給湯器 150,000円